

カサアゲ君 Plus 購入者各位様

2008/06/01

お待たせいたしました。カサアゲ君 Plus をお送り致します。

□発送物

今回、お送りしたのは、以下の4点です。

- カサアゲ君 Plus 1個
- ナイロック付きボルト(長さ 10mm / φ 4mm) 2個
- ワッシャ 2個 (既にボルトに通してあります)
- 穴あけ用台紙

□穴あけ用台紙の使い方ならびに装着方法

灰色がカサアゲ君 Plus をサイドスタンド側から見た図となります。そして白丸が穴の位置となります。(詳細は後述してある URL を参照ください)。また青線で囲まれたところは、本台紙をサイドスタンドの上(足が付いている側)から被せた場合、サイドスタンドの足や、溶接の肉盛り分から逃げる為のエリアです。この逃げる範囲は4V系、2V系とで大きく違うだけでなく、同じ4Vでも個体によって違うようですので、ご自分のバイクに合わせてカットしてください。

ちなみに既に印刷してある青の領域は2V装着時に切り取った領域です。

以下、大まかな装着方法です。あくまでも参考ですので、ご自分の作業しやすい方法で装着してください。

1. バイクをサイドスタンドで立たせる

この時、ドリルの刃が地面に当たるの防ぐ為、サイドスタンド下に板切れ等をひいておくのがよい

2. 台紙のボルト位置に小さな穴を開ける

3. 台紙を自分のバイクにあわせて逃げる範囲を切り取る

(参考：<http://k1100lt.chips.jp/bike/kasaage/kasaage.htm>)

4. 位置が決まったら、ポンチで位置をマークする

5. ドリルで穴を開ける

ドリルで穴を開ける場合、シフトペダルを外しておくと思失敗が少ないと思います。面倒臭がらずに、シフトペダルを外してください。また外す前にシフトペダルとシャフトの位置関係を確認してから外してください。この関係が変わると、再装着時シフトアップ、シフトダウンの感覚が変わってしまいます。またシフトペダルの締め付けボルトは緩めるだけでなく、完全に外す方がよいでしょう。

6. カサアゲ君 Plus をあてがって、穴の位置を確認する

もしずれていたら、バイクにむかって左奥の穴を「決め穴(固定)」として、右手前の穴を長穴として、2つのボルトで固定出来るようにしてください。これまで3台ほど作業しましたが、大きくずれることはなく、右手前の穴も、ドリルで少し、こねくりまわして(＜こんな表現で判って頂けますでしょうか？)、穴の径を少し大きくすることで装着可能となりました。

7. ボルトで固定する

ボルトには予めナイロックと呼ばれている緩み止めが塗布されています。

<参考>

サイドスタンド（鉄）とカサアゲ君 Plus（アルミ）を接触させることで電蝕が発生する可能性があります。亜鉛などを塗布して、それを防ぐ方法があるようですが、これ以外にもあるかと思いますので、気になる方は、ご自分でお調べいただければと思います。

□干渉チェック

マフラ、センタースタンドとの干渉状態を確認します。

干渉は【音】と、【引っ掛かる】という現象から確認します。

・マフラとの干渉

センタースタンドで立っている状態で、サイドスタンドを出し入れし、マフラとの干渉を確認してください。バイクフレーム側に装着されているゴムが劣化し縮んでいると、マフラと干渉してしまうかもしれません。この場合は、ゴムを交換するか、カサアゲ君 Plus を削ってください。

・センタースタンドとの干渉

<<この作業は一人で行わず、干渉状態を確認する人がいるところで行なう事をお薦めします>>

センタースタンドをしまった状態で、サイドスタンドをはらってください。この状態で、センタースタンドが無事引き出されれば OK です。ただ、この状態で干渉していると、センタースタンドが出てこなくなります。センタースタンドを引き出し損ねて立ちゴケ……。なんて事も有りえます。この場合は、慌てず、サイドスタンドを出して、体制を整えなおしてください。

次にサイドスタンドをしまった状態でセンタースタンドをしまい、サイドスタンドを出してみてください。干渉している場合は、干渉位置を確認して、ヤスリで削ってください。

最後に、ご自分がいつも乗り降りする流れに沿ってスタンドの出し入れを行い、干渉しないか再度確認してください。

以上で全ての作業が終了です。

□最後に

ちょっとした部品ですが非常に役に立つ部品で、快く図面を提供して下さった方にこの場を借りて感謝いたします。